

第 200710614-001-EZA 号  
平成 19 年 12 月 7 日

株式会社 ニーズインターナショナル 殿

## 試験結果報告書

計量証明事業新潟県知事 佐藤 隆 印  
財団法人 新潟県環境衛生研究所  
新潟県燕市吉田東栄町 8 番 13 号  
TEL 0256-93-4509 FAX 0256-93-6899



平成 19 年 11 月 26 日ご依頼の下記検体について、  
試験結果を次のとおり報告致します。



### 記

件名 ; 瞬間快適消臭効果検証 (平成 19 年度)

検体名 ; 瞬間快適消臭

## 1 試験目的

本試験は、供試検体（瞬間快適消臭）が布に付着したアンモニアに対して消臭効果を有するか確認することを目的とした。

## 2 試験方法

### 2-1 試験の概要

アンモニア水を布（ガーゼ）に付着させた後、供試検体を規定回数噴霧し、アンモニア濃度を測定する。

### 2-2 試験使用器材等

- ・アンモニア水：2.8%アンモニア水（依頼者提示品）
- ・布（ガーゼ）：10cm<sup>2</sup>ガーゼ（市販品）
- ・テドラーバッグ：5L（三商製）
- ・検知管：3L（ガステック製；測定範囲0.2～60ppm）
- ・検知管：3M（ガステック製；測定範囲2～1000ppm）
- ・ガス採取器：GV-100（ガステック製）

### 2-3 試験手順

#### ①「対照（ブランク）」

10cm<sup>2</sup>ガーゼにアンモニア水を一定量噴霧し、5Lテドラーバッグにすばやく入れ封をする。一旦バッグ内を脱気した後、純空気300mlを注入して1～2分間安定させる。その後、検知管法によりテドラーバッグ内のアンモニア濃度を測定する。

#### ②「噴霧直後（3回噴霧）、噴霧直後（5回噴霧）」

10cm<sup>2</sup>ガーゼにアンモニア水を一定量噴霧する。その後、供試検体を3回、5回それぞれ噴霧し5Lテドラーバッグにすばやく入れ封をする。一旦バッグ内を脱気した後、純空気300mlを注入して1～2分間安定させる。その後、検知管法によりテドラーバッグ内のアンモニア濃度を測定する。

#### ③「噴霧24時間後（3回噴霧）、噴霧24時間後（5回噴霧）」

10cm<sup>2</sup>ガーゼにアンモニア水を一定量噴霧する。その後、供試検体を3回、5回それぞれ噴霧し5Lテドラーバッグにすばやく入れ封をする。一旦バッグ内を脱気した後、純空気300mlを注入して24時間放置する。その後、検知管法によりテドラーバッグ内のアンモニア濃度を測定する。

### 3 試験結果

試験結果を表1、図1に示す。

表1 アンモニア消臭効果試験

試験対象	アンモニア濃度 (ppm)	残存率 (%)
対照 (ブランク)	550	****
噴霧直後 (3回噴霧)	0.2 未満	0.1% 未満
噴霧直後 (5回噴霧)	0.2 未満	0.1% 未満
噴霧 24 時間後 (3回噴霧)	0.2 未満	0.1% 未満
噴霧 24 時間後 (5回噴霧)	0.2 未満	0.1% 未満

